

学修環境（北海道科学大学短期大学部）

講義室等は、7号館・8号館・A棟・E棟・G棟にあります。

A棟講義室は、250名規模の大講義室を5室備えている他、中・小規模の講義室は可動式の机を使い、さまざまな学びのスタイルに対応しています。

E棟講義室は、大型スクリーン3台、65型液晶ディスプレイ4台を設置した、300名が収容可能な講義室(4階)をはじめ、黒板の両脇に120型スクリーンを2台設置した講義室(3階・4階)も完備しています。G棟講義室は、大講義室であっても教員と後方座席の学生の距離を近付けるため、正方形の平面形状となっています。また、前面部の天井高を一般的な3,000mmより高い3,450mmに上げ、普通講義室では大型スクリーンを設置し、画面の視認性が高い教育環境を確保しています。

R5棟(実習場)・R6棟(車検場)には、新時代の自動車整備士を目指す学生のために、さまざまな駆動方式や動力を備えた実習車両や道内トップクラスの最新設備が揃っています。

アルコブ（オープンスペース、溜りの空間）には、「短期大学部スペース」を設けて椅子やテーブルを配置しています。このスペースは、学生たちの憩いの場、学修の場として利用されています。

8号館には短期大学部専用の図書資料室があり、各自動車メーカーから寄贈された、貴重な車種別の整備マニュアル等の専門書が閲覧できます。使用できるのは16:20～17:00で、事前に申込みが必要です。（大学の休日は除く）

体育館は学生の課外活動を全面的にサポートする道内有数の屋内体育施設です。全方位にて競技を観覧出来る1,613㎡のメインアリーナ、少人数での活動が十分に出来る490㎡のサブアリーナ、一年を通じて身体を鍛える事が出来る最新鋭のトレーニングルーム、武道を修練するに申し分ない武道場が2面、半屋外にて競技を行える弓道場・アーチェリー場、メインアリーナを取り囲むように部室、ミーティングルームを設置、その他ロッカールーム・シャワールームを完備しています。

また、南側の主要壁面には建築デザインと一体化した太陽光発電パネルを設置しており、地中熱ヒートポンプを熱源としたアリーナ暖房、ハイサイドライトを活用したナイトパーゴラ設備など、自然エネルギーや高効率システムを導入した環境への配慮を行っています。